

## 全国共済月間とは…

組合員が健康で安全に大学生生活を過ごせるよう、  
『共済活動』を**全国の大学生協に関わる人みんな**で  
**一斉に取り組もう！**という期間です！



詳しくは、全国共済月間ニュースを見てね！



月間NEWS  
No. 1



月間NEWS  
No. 2

## 01 全国共済月間を活かそう！

組合員に健康や安全について考えてもらうため、  
「**生協全体で取り組むこと**」を意識しましょう！

**普段おこなっている取り組み**は、しっかりと組合員に寄り添ったものになっていますか？

☆共済月間という機会を活かして、もう一度見直してみましょう！

☆学生だけでなく職員と一緒に話し合い、生協全体で取り組むことを考えましょう！

**初めて取り組む生協**では、この共済月間をきっかけにして取り組みましょう！

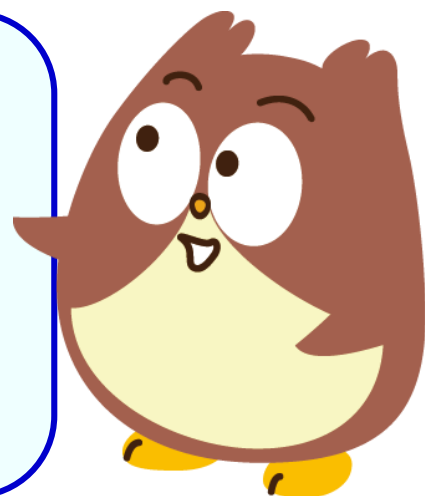
一度見てほしい！  
全国共済月間  
ハンドブック

会員専務・正副委員長宛に  
メールにて発信します！

## 02 ブロック企画 後期は、共済発信物コンテスト！

各生協で共済ボードに限らずチラシや動画、SNSなど  
様々な方法で、共済や健康安全について  
知らせる取り組みが増えています！  
よって、関西北陸ブロックでは共済月間に合わせて、  
共済ボードに限らない、様々な媒体を対象とした  
**共済発信物コンテスト**を実施します！

**様々な発信物を通して、  
たすけあいをキャンパスに広げましょう！**



その前に、給付事例学習会を！



# 給付事例学習会をやってみよう！

## 給付事例学習会とは…？

給付事例やたすけあいアンケートに触れ、自大学にどんな病気やケガ・事故で給付を受けた人が多いのかを確認することや、**学内でどのように「たすけあい」が広がったのか**実感できる学習会です。

## 給付事例学習会をすることで…

- ▷自分の大学での給付内容から組合員の生活実態を把握できる。
- ▷学生生活のリスクや大学生活に寄り添った取り組みを行うことができる。
- ▷給付を受けた人の声や想いを知ること、たすけあいを実感できる。



## 学生と職員と一緒に給付事例学習会を行なうと…

- ▷それぞれの立場から気づいたことを共有し、刺激し合える。
- ▷その場で考えたことを、一緒に取り組みに反映できる。
- ▷仲良くなることができ、今後の取り組みの意思統一ができる。

## 具体的な実践例

▷**事前準備** →給付事例(たすけあいアンケート)を何枚か用意しておく。

- ・6～8枚程度あるとよい。
- ・職員さんに頼むと用意してもらえます！

▷**当日** →**手順①** 給付事例学習会を行なう目的や、今回の手順を共有する。

- ・必要に応じて、グループ分けを行なう。
- 例) ・給付を受けた人の状況になり切って、たすけあいについて考える。
- ・自分の大学にどんな病気・ケガ・事故で給付を受けた人が多いか把握し、予防提案について考える。

**手順②** 実際に給付事例(たすけあいアンケート)を読む。

**手順③** 感じたことや思ったことを、グループで意見交流。

**手順④** まとめ(全体での意見交流や、今後の具体的な行動について)

- 例) ・組合員に届く発信物の作成
- ・感じたことや思ったことをもとに今後どのようなことを行なうかを考える

## 給付事例学習会を通して…

- ▷自分の大学の組合員の実態に寄り添った取り組みを行いましょう！
- ▷給付事例学習会で実感した「たすけあい」を組合員に広げましょう！
- ▷職員とともに取り組みを行なうことで、取り組みの幅が広がります！



給付事例学習会を行なうだけで終わるともったいない！  
次の取り組みにつなげよう！



各生協で給付事例学習会を行ない、みんなで共済やたすけあいの想いを実感し、発信物を作成してみましょう！

関西北陸ブロック 学生事務局 [肥後 華織]